

# 翌

六年 画数 11  
筆順 オン ヨク 翼 翌  
画数 11  
成り立ち

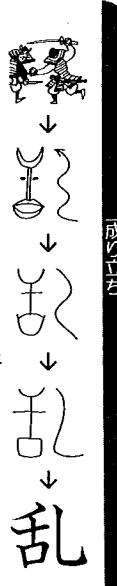


“翼”(つばさ)”という字の省略された“羽”と、飛び立つ意味の“立”とを組み合わせて作った字です。

「翼を羽ばたいて、鳥が“飛び立つ”ことを表した字です。そこで、“次の月”を“翌月”、“次の年”を“翌年”と言うようになりました。

# 乱

六年 画数 7  
筆順 オン ヨク ラン  
成り立ち



“話”的意味を表した“舌”(年5764)と、「物事がまつすぐに進まない」意味を表した“し”とを組み合わせて作った字です。

「話が“こじれ”て、正しく進まない」ことを表した字です。これが“争い”的起る原因なので、“争い”“みだれ”的意味に使われます。例騒乱、反乱、乱世、混乱、乱調、乱筆、乱舞。

また、“濫”(みだりに)と同音なので、“濫”的代わりに使われます。例乱読、乱用、乱獲、乱費。

「本字は“亂(亂)”で、彼我協調しようとしてうまく事が進まないことを表した字である。」

## 使い方

▽ぼくはお母さんのいなかへこん虫取りに行きました。翌日は、雨が降りそうだったのでやめて、いとこたちとゲームをして遊びました。翌翌日は天気が良かつたので、朝から出かけ、たくさんこん虫を取つて来ました。

## 熟語例

- ▽翌月 (次の月)
- ▽翌年 (次の年)
- ▽翌朝 (次の日の朝)
- ▽翌晩 (次の日の晩)
- ▽翌春 (次の年の春)
- ▽翌翌月 (次の月)
- ▽翌翌日 (次の次の日。二日後)
- ▽翌週 (次の週)
- ▽翌翌年 (次の年)
- ▽翌翌朝 (次の日の朝)
- ▽翌翌晩 (次の日の晩)
- ▽翌翌春 (次の年の春)
- ▽翌翌月 (次の月)
- ▽翌翌翌月 (次の次の月)

## 使い方

▽算数の時間に、問題が出ました。先生がぼくに黒板で問題を解いてごらんと言うので、前に出て解き始めましたが、途中で頭が混乱して、わからなくなってしまいました。皆が見ていると、あがつてしまします。

▽わたしは本が好きです。手当たりしだいに乱読するのですが、こういう読み方では、良い本に出会うのはそう多くはありません。だから、読書指導をしてくれる

と良いな、と思います。

## 熟語例

- ▽騒乱 (世の中が騒がしく乱れること。)
- ▽反乱 (主人にそむき争うこと。)
- ▽乱世 (乱れて争いが続く世の中)
- ▽混乱 (物事に秩序がなく、ごちゃごちゃと入り乱れている様子)
- ▽乱調 (乱れた調子)
- ▽乱筆 (乱暴な書き方)
- ▽乱舞 (おどりくるうこと。)
- ▽乱読 (手当たりしだいにたくさんの中を読むこと。)
- ▽乱用 (むやみやたらに使うこと。)